カンボジアで見たこと感じたこと

▲ＩＫＴＴ村の子どもたちは、人なつっこく本当に愛らしい。子どもたちが大人になる頃、カンボジアはどんな国に成長しているのだろうか…？（石動）

◀大きく目立つ看板である。よく見るとゴミの分別、ポイ捨て禁止という内容のようだ。（金沢）

▼日本橋と、建設中の中国支援の橋。その隣には水に沈みそうな家々。支援の在り方を考えさせられる。（播本）

◀カンボジア日本人材開発センターの学生との交流。真面目で意欲的な大学生に感動！学生も、私たちも一生懸命で、充実した時間を過ごすことができた。（寺西）

▶Ta Prom遺跡の木。
建物をも飲み込む木に感動。カンボジアに根付く生命力を感じた。（寺西）

▲小学校１年生の社会の教科書。道徳教育や、宗教教育も含まれている。（播本）

◀衝撃を受けたカンボジアの交通事情。一台のバイクに４人、５人と乗るのは日常のようであり、大きな通りにも信号はほとんど無かった。（渡辺）

▶ポルポト政権下の虐殺風景。幼児であろうと命は簡単に奪われてしまった。（伴）

◀アンコール遺跡は確かにすごい。威厳を感じる。でも、これだけに頼っていてはいけない。だからこそ、カンボジアの人たちの努力や他国の支援があるのだなと感じた。（石動）